



43022-XKB -K000 SPORTS PAD SET TypeSPORTS for HONDA ACCORD

取扱説明書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。



注 意

- 当製品には、ウェアインジケータ(ブレーキパッド残量警告装置)が装着されておりません。定期的にパッドの残量、その他異常がないか点検して下さい。
万一異常が認められた場合は、大変危険ですのでご使用を中止して下さい。
※残量が2mm以下になったら必ず交換して下さい。
- 摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。
- 交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。
- サーキットにおける使用に際し、本来の性能を発揮するためには、パッド装着後十分な制動距離を確保した上で、数回のハードブレーキングを行い、パッドの焼き入れ(パッド内部のガス抜き)をして下さい。
- 当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。
- ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3141 FAX. 048-462-3121

当製品の特性

- 純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。
- 純正品と比較して、ローターへの攻撃性が若干高い為、ローターの摩耗にご注意下さい。
- ストリート走行時、キーキー音やゴォー音が出る事があります。
- パッド摩耗粉が多いため、ホイールの掃除をこまめに行ってください。



43022-XKB -K000 SPORTS PAD SET TypeSPORTS for HONDA ACCORD

取 付 説 明 書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご 注 意

1. 開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしていますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。
[適応車種] ACCORD EuroR LA-CL7
 ACCORD LA-CL9
 INSPIRE UA-UC1
3. ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3141 FAX. 048-462-3121



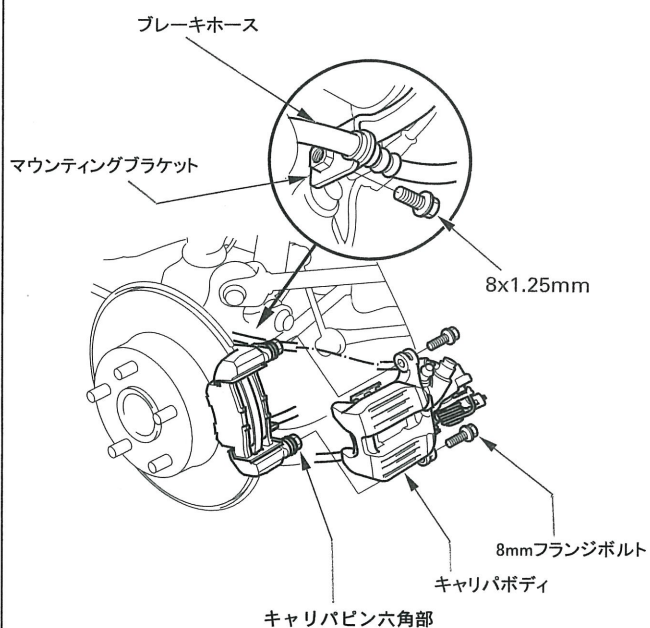
警 告

- 走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。
- パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー（繊維質）が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。
- パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

リヤブレーキパッドの交換

- 注意**
- ・ブレーキ ディスク、パッドに油脂類を付着させないこと。
 - ・タイヤを取り外す際、アルミホイールでブレーキキャリパ表面に損傷を与えないように注意すること。
 - ・ブレーキキャリパはアルミ製である。傷がつきやすいので作業には注意すること。

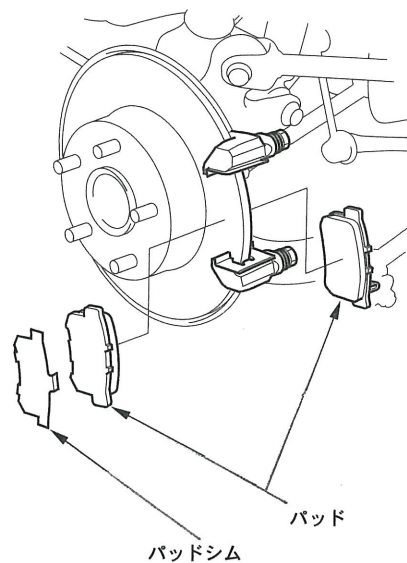
- ①ブレーキホースをマウンティングブラケットから取り外す。
- ②キャリパ ピン六角部をレンチで保持して8mmフランジボルトを外し、キャリパボディをブラケットから取り外す。



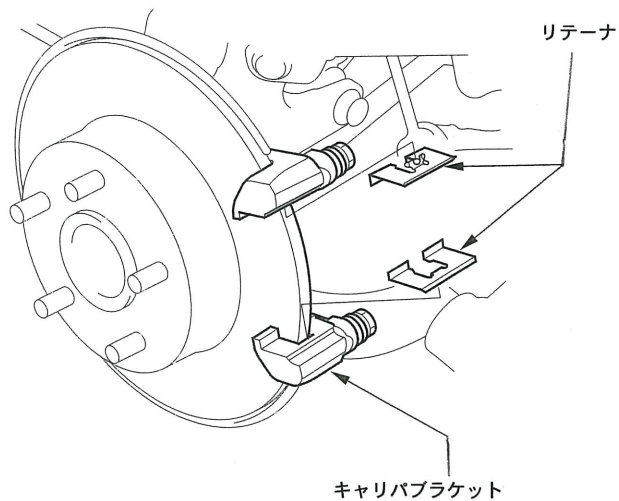
- ③キャリパ ボディを針金等で固定する。

- 注意**
- ブレーキ ホースでキャリパを吊り下げないこと。
 - また、ブレーキ ホースをブラケットおよび周辺部で損傷させないこと。

- ④キャリパ ブラケットからパッドとパッド シムを取り外す。



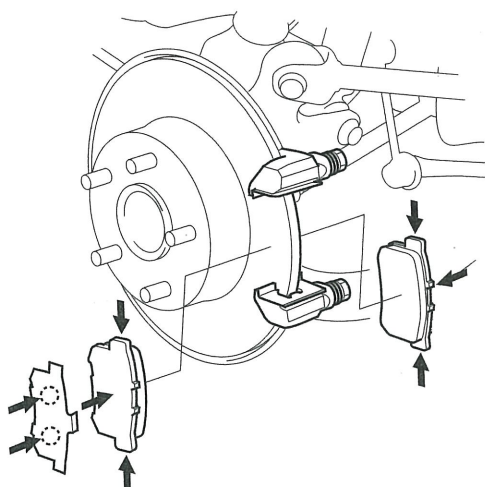
- ⑤リテーナを取り外し、清掃する。
- ⑥キャリパ ブラケットを清掃する。
- ⑦リテーナを取り付ける。



- ⑧下図の矢印で示した箇所にモリコートM77グリースまたはダイカルブ528Dグリースを塗布する。

注意 ・シム装着時、パッドとシムからグリースがはみ出さないようにすること。

・ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

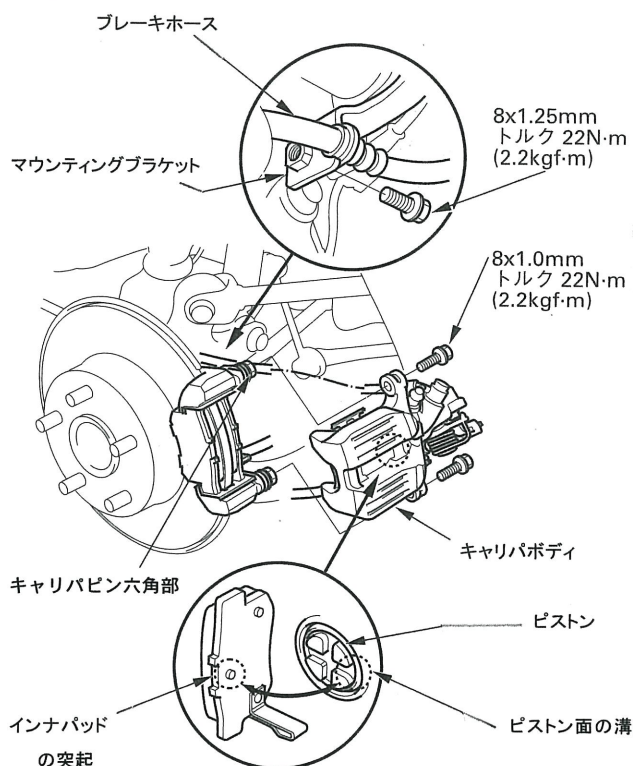


- ⑨シムを取り付けたパッドをキャリパブラケットに取り付ける。

- ⑩キャリパボディを清掃し、ピストンを回してシリンダ内に押し込む。

※マスタシリンダのリザーバタンクからフルードがあふれていないか確認すること。

- ⑪インナパッドと接触するピストン面にグリースを塗布する。



- ⑫キャリパボディを元の位置に取付け、キャリパピン六角部をレンチで保持して8mmフランジボルトを締め付ける。

注意 ピストン面の溝をインナパッドの突起に合わせる。

- ⑬ブレーキホースをマウンティングブラケットに取り付ける。

- ⑭ブレーキペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

注意 ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。

- ⑮マスタシリンダリザーバタンクのブレーキフルード量を点検する。

- ⑯取り付け後、ブレーキホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。